


平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立洛水高等学校 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	第1 学年生徒 200名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>・アーチェリー競技やオリンピック・パラリンピックへの興味関心を高め、障がいを持ちながらもアスリートとして活躍する人から勇気をもらう。</p> <p>・目標を設定し、継続して努力することの大切さを学び自己の夢や進路決定に生かす。</p>
5 取組内容	<p>(1) 事前学習</p> <p>① 実績紹介プリント配布</p> <p>② 質問内容の検討</p> <p>(2) 講演</p> <p>日時 平成30年10月29日(月) 13:15~15:05</p> <p>講師 上山 友裕 氏</p> <p>講師の主な競技実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラアーチェリー リカーブ男子70m日本記録保持者 ・2016年リオデジャネイロパラリンピック 7位入賞 ・2018年アジア大会 MIX 銀メダル <p>① 題名「2016から2020へ」</p> 

② 内容

- 夢と目標の違いについて
- 目標を達成するためには
- どん底から切り替えた方法 等



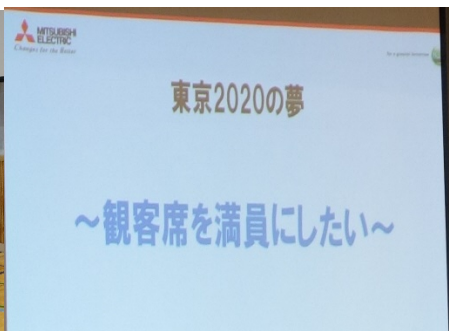
③ 体験（弓を引く動作のみ）



④ 質疑応答



(3) 事後指導 感想文にて



<p>6主な成果</p>	<p>生徒のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンスに気付ける人になれと言っていましたが、なるほどと思いました。 ・自分の叶えたい夢に一步ずつでも近づけるように、目標を立て行動に移していきたいと思いました。 ・足が動かなくなるという不幸なことがあっても、それを楽しく、面白く話すポジティブさを見習おうと思いました。 ・僕は正直スポーツには興味関心がほとんどない人生を送ってききましたが、上山さんのお話を聞いてアーチェリーにもパラリンピックにも興味を持てるようになりました。 ・「出来ないことは多くなったかもしれないけど、前の自分より今の自分が良い」とおっしゃっていた姿に感動しました。 ・東京パラリンピックの観客席を満員にするという夢を全力で応援したいと思います。 <p>今まで、あまり身近になかったアーチェリーという競技でも実際にパラリンピックに出場したところのある一流アスリートの講演を聞くことで、オリンピック・パラリンピックへの興味関心が高まった。</p> <p>また、障がいを持ちながらも継続して努力することで夢を叶えた存在を身近に感じたことで、自身も努力することの重要性を感じたようであった。</p> <p>アジア大会での銀メダルを実際に手にするという、ふだんではなかなかできない経験ができたことも良かった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>実際に競技会で使用されている弓を引く体験をしたことでトップアスリートとして活躍することの大変さを少しでも知ることができた。</p> <p>事前学習の中で生徒自身が質問を用意できたこともあり、質疑応答が盛り上がった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>講演会の事前指導や、当日の流れについては円滑に進めることができたが、講師選出や取組内容の検討に多くの時間を費やした。</p> <p>また、講演をしていただくスタイルでは次年度以降に継続して実施することが難しい。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>未定</p>